

小麦用 茎葉兼土壌処理除草剤

# ガルシア フロアブル



®はホクサン(株)の登録商標

**適用拡大!**

小麦4葉期～6葉期  
(越冬前)

スズメノカタビラ  
4葉期まで

秋播小麦の雑草対策は

**越冬させない**のが

**決め手!**



**大型50規格  
登場!!**

小麦用茎葉兼土壌処理除草剤

# ガルシアフロアブル®

**有効成分** インダノファン ……10.0%  
ジフルフェニカン ……4.0%

**毒性** 普通物  
※毒劇物に該当しないものを指している通称


**除草剤分類** 15, 12

## ガルシアフロアブルの4つの特長

- 1** 一年生雑草(イネ科・広葉)に有効な茎葉兼土壌処理剤です。
- 2** 秋播小麦では土壌処理～小麦6葉期まで使用可能で、雑草の発生状況、農作業に合わせて幅広い時期に使用できます。
- 3** スズメノカタビラ、イヌカミツレに対して安定した効果を示します。
- 4** 防除機が汚れにくいフロアブル製剤です。

### ●秋播小麦での上手な使い方

**は種後出芽前**  
(雑草発生前)




推奨薬量 **200ml**

150～250ml/10a  
(水量70～100ℓ/10a)

覆土深 2～3cm

**小麦出芽直前～小麦3葉期**  
(雑草発生前～発生始期)




推奨薬量 **150～200ml**

100～200ml/10a(水量70～100ℓ/10a)

※春播小麦に使用する際は、小麦1～3葉期(雑草発生始期)200ml/10a(水量70ℓ/10a)で使用して下さい。

**小麦4葉期～6葉期**  
(越冬前)スズメノカタビラ4葉期まで



推奨薬量 **200～250ml**

200～250ml/10a(水量70～100ℓ/10a)

※碎土、整地はていねいに行い、覆土深が2～3cmになるように細かく砕いた土を用いて、ていねいに覆土を行ってください。※イヌカミツレが多発する圃場では使用基準の範囲内で高薬量で使用して下さい。

### ●適用と使用方法 (2021年11月現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	インダノファンを含む農薬の総使用回数	ジフルフェニカンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
小麦(秋播)	一年生雑草	は種後出芽前(雑草発生前)	150～250ml	70～100ℓ	1回	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布	2回以内	1回
		小麦出芽直前～小麦3葉期(雑草発生前～発生始期)	100～200ml					
		小麦4～6葉期(越冬前)スズメノカタビラ4葉期まで	200～250ml					
小麦(春播)		小麦1～3葉期(雑草発生始期)	200ml					

### ●注意事項

- 砂土では使用しないで下さい。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布して下さい。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がつかないように注意して下さい。
- 本剤は土壌処理兼茎葉処理剤なので、雑草の発生前から発生始期に処理して下さい。ただし、葉令の進んだ雑草に対しては効果が劣るので適期散布につとめて下さい。
- 本剤は土壌処理200ml/10a以上、茎葉処理150ml/10a以上でイヌカミツレに効果が高い。
- 小麦4～6葉期処理においてイヌカミツレが多発する圃場では250ml/10aで使用して下さい。
- 碎土、整地はていねいに行い、覆土深が2～3cmになるように細かく砕いた土を用いてていねいに覆土を行って下さい。
- 激しい降雨の予想される場合は使用を避けて下さい。
- まきむらのないように均一に散布して下さい。重複散布や多量散布は薬害を生じる場合があるので、使用量を厳守して下さい。
- 砂質土壌では薬害が発生する恐れがあるので使用を避けて下さい。
- 腐植の多い土壌では効果が劣る場合があります。
- 本剤の使用により、麦の葉身に白斑が見られる場合がありますが、その後回復し、麦の生育・収量に影響はありません。
- 周辺の農作物や有用植物にかかることと薬害を生ずるので、つかないように注意して散布して下さい。
- 本剤を散布した圃場で後作物を栽培する場合には、耕起を十分に行ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

